

1. 授業の概要(ねらい)

《『商』の思想とノウハウ／日本の産業の歴史と姿(事例:総合商社及び各産業領域の革新企業)》

本授業は、産業・企業・ビジネスパーソンにとって基本的で大切なことを学習の対象にします。現代グローバル社会・組織を健全に運営し、又、その中で良く生きるための、重要な資産・ノウハウである『商』の思想とノウハウを勉強します。製造業も含め多くの企業経営は、健全性・成長戦略・サステナビリティにおいて、『商』の良き思想とノウハウに頼っています。これを学習の対象とします。

将来、新たな事業を興すリーダーになるため、また、家業の事業を継ぐ可能性がある学生はその準備のため、本講義の受講を特に薦めます。

前期では、第一に、『商』の思想とノウハウとは何か、日本三大商人である近江商人の子弟教育の資料を視聴し学習します。第二に現代総合商社を事例にしてそこから見える各産業領域の姿の知識を身につけながら、総合商社の思想とノウハウを学習します。第三に、日本の産業の発展に貢献する『商』の思想とノウハウについて、革新企業の事例を通して習得します。また、中間と最終にレポート課題があり、その一部の受講者によるプレゼンテーション、全体での討議がありますので積極的に取り組んでください。

尚、この授業の内容は、社会・組織の運営のみならず、学生のみなさんの就職及びキャリア形成のためにも、大切な考え方を学ぶことができます。

2. 授業の到達目標

- ①現代産業・企業を健全に運営するため、重要な考え方・知識である『商』の思想とノウハウを学習し、これを経営技術として説明ができること。
- ②総合商社及び各産業の革新企業の事例学習から 『商』の思想とノウハウの観点でその取り組みと課題を理解し、各産業の現状とともに説明ができること。
- ③総合商社について学習し、各産業領域のビジネスモデルの変革の歴史と今後の動向を説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

授業で提示する課題に対するレポートの提出結果及び最終レポートによる試験(40%)。

授業での発表・ディスカッションへの積極的な参加と貢献(30%)。

出席等授業態度にみられるdiscipline(訳注:決められたことをそれが辛かろうが妥協せずに実行する強い姿勢・自中心・自己鍛錬)(30%)。
これらを総合して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

三菱商事(株)編 『新・現代総合商社論』*資料配布乃至はLMS掲載予定 (早稲田大学出版部)

近江商人博物館 『てんびんの詩』:授業で視聴予定 (日本映像企画)

三菱商事(株)人事部 『三菱商事考』(三菱商事作成、授業でコピー配布予定) 三菱商事(株)人事部

参考文献

小倉榮一郎著 『近江商人の経営』 (サンブライ出版)

オグ・マンディーン著、稲盛和夫監修 『地上最強の商人』 (日本経営合理化協会出版)

第一勧銀経営センター編 『家訓』 (中経出版)

ウォルター・ワングリン著 『小説聖書 旧約篇』 (徳間書店)

日経産業新聞編、『SONY平井改革の1500日』 日本経済新聞出版社

注)『私の履歴書』 関連資料は配布(コピー)乃至はLMSに掲載する予定

日本経済新聞編 『私の履歴書 経済人第17巻 吉田忠雄(吉田工業社長)』 <YKK> (日本経済新聞)

本田宗一郎 日本経済新聞 私の履歴書『夢を力に』 <ホンダ> (日経ビジネス人文庫)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 似鳥昭雄』 <ニトリ> (日本経済新聞)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 安部修二』 <吉野家> (日本経済新聞)

小倉昌男著、日本経済新聞 私の履歴書 『経営はロマンだ』 <クロネコヤマト> (日経ビジネス人文庫)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 鬼塚喜八郎』 <アシックス> (日本経済新聞)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 カルロス・ゴーン』 <日産自動車> (日本経済新聞)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 横川きわむ』 <スカイラーク> (日本経済新聞)

日本経済新聞 日本経済新聞 『私の履歴書 寺田千代乃』 <アート引越センター創業者> (日本経済新聞)

5. 準備学修の内容

2020年度の新コロナウイルスパンデミックの経験と学んだことを各自まとめ、ワークショップ並びに中間課題の準備を行い、企業経営・雇用への影響の観点で自分の考えを発展させること。

中間と最終のレポート課題は授業時間外の学習において十分な取組みが必要です。

各講義の配布資料は授業時間外の学習でもよく理解してください。

6. その他履修上の注意事項

講義資料を掲示しますので、LMSをよく見てください。

日本経済新聞を読むようにしてください。

日本には多くの商家・商人の貢献・遺産を展示している施設がありますので、機会を見つけて訪問し研究してみてください。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション／日本の産業の概要を理解する

【第2回】 総論1 『商』の思想とノウハウとは何か理解する

事例: 近江商人 子弟教育 (1)

【第3回】 総論2 『商』の形成・成長・進化の理解と動態分析の仕方を学ぶ

事例: 近江商人 子弟教育(2)

【第4回】 現場から その1:企業経営者の語る『商』の思想とノウハウ

- 【第5回】 総論3 『商』の思想とノウハウの要点／科学者・経済学者・経営者などの優れた知性が語ること
- 【第6回】 総合商社と成長の動態分析とその『商』の思想とノウハウについての概説
機械・自動車産業と総合商社
化学産業と総合商社
- 【第7回】 エネルギー産業と総合商社
食糧・食品産業と総合商社
- 【第8回】 オンライン講義で実施 現場から その2:新聞記者の視点から
第8回講義の週に 第9回講義を行う(第10回以降繰り上げ実施)
- 【第9回】 情報・知識産業〈事例学習: ソフトバンク 孫正義 成長の軌跡とビジョン〉
- 【第10回】 重工業メーカー〈事例学習: 東芝の苦境と日立・三菱〉
- 【第11回】 サービス産業〈事例学習: ユニクロの革命〉
- 【第12回】 現場から その3: グローバルプレーヤーの経験から
- 【第13回】 サービス産業〈事例学習: クロネコヤマト宅急便を生んだ会社と課題〉
- 【第14回】 『商』の思想とノウハウ／思想・企業価値形成・知識と技術について
- 【第15回】 日本の課題と『商』の思想・ノウハウ まとめ(討議と発表)